

クマツヅラ

Verbena officinalis L.
クマツヅラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

本州～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

山野の道ばたに生える多年草。茎は4角で直立し、高さ30～80 cm。葉は羽状に中～深裂し、長さ3～10 cm、幅2～5 cm、茎とともに細毛がある。6～9月頃、30 cmにもなる細長い穂状花序に、径約4 mmの淡紅紫色の花が付く。

生育を脅かす要因

土地造成、道路工事、管理放棄等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○															○

タマミズキ

Ilex micrococca Maxim.
モチノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

確認されている生育地は1地区のみで、個体数とも限定される。本県を分布上日本海側の北限としているので、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

本州（静岡県、福井県以西）～九州に分布する。県内ではおおい町で確認されている。

種の特徴

山地の常緑林内に生育する落葉高木。雌雄異株で全体無毛。若枝には稜がある。葉柄は長さ1.5～2 cm。葉身は薄く、卵状楕円形または卵状長楕円形、先は細く鋭く尖る。6月、新枝の葉腋から、多数の花を付ける。果実は球形で径約3 mm、赤熟し、6～8個の種子がある。

生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

キキョウ

Platycodon grandiflorus (Jacq.) A.DC.
キキョウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

かつてはしばしば見られたが、遷移の進行や園芸採取により著しく減少した。

分 布

北海道～奄美に分布。県内では高浜町、おおい町、小浜市、敦賀市、あわら市、越前市、永平寺町、池田町、福井市、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

山野に生育する多年草。根茎は太い。茎は高さ50～100 cmになり、上部で分枝する。葉は狭卵形で鋸歯がある。下部では対生または3輪生、上部では互生。7～8月、茎頂近くに数個の花をつける。花冠は径4～5 cmの鐘形で5浅裂し、白色～青紫色まで変異がある。

生育を脅かす要因

園芸用、薬用の採取、草地植生の遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○		○	○			○	○		○	○		○	○	○